

防災パンフレットの作り方

- ①A3サイズの紙に原寸で両面印刷をします。
- ②パンフレットのサイズに余白をカットします。
- ③三つ折りになるよう折りたたみます。
折り方は右記をご参照ください。



グレーの部分が余白となります。
ハサミ、カッター等の使用時には十分ご注意ください。

折り方



- ①内面を上にし、
向かって左側を
山折りにします。



- ②残った右側も
図のように
山折りにして
完成です。

119番通報メモ

このメモに連絡先などを事前に記入しましょう



あわてず
119番

落ち着いて要件を
ゆっくり正確に伝えましょう



火災の時

火事です



急患の時

救急です

現場の住所を伝える

市

町

丁目

番地

号

建物の名称等

(号室)

火災の状況

「どこが」

燃えています

病気、ケガの状況

「だれが」
「どのような」

さんが

状態です

目標となるものを伝える

近所には

あります

あなたの名前/連絡先を伝える

名前

電話番号

緊急時の連絡メモ

家族等の集合場所

--	--	--

家族等の連絡先

氏 名	電話番号	備 考

	名 称	電話番号
会社		
学校		
水道		
電気		

集合住宅・マンション等の連絡先

管理会社		
管理組合		

NTT災害伝言ダイヤル

1 7 1 ガイダンスが
流れます。

録音 **1** 再生 **2**

市外局番から電話番号を入力します
伝言を録音(30秒)・再生

携帯電話用災害伝言板

各携帯公式メニュー

災害用伝言板

登録

確認

安否確認をクリック

電話番号を入力

送信

検索

2022.3.31発行

万が一のために

マンション・住まいの 防災・緊急・救急 ハンドブック

災害・火災・緊急の時

すぐ連絡



Emergency



一般財団法人 函館市住宅都市施設公社

山折り

山折り

災害に備える 自宅の安全対策と備蓄品の準備

身を守る準備

倒れやすい家具は固定しましょう。

寝室には倒れやすい家具を置かないなど、配置にも注意しましょう。

吊戸棚などは収納物が飛び出さないようラッチなどを確認しましょう。

吊り下げ型照明器具は落下防止対策が必要です。

照明器具は揺れて天井にぶつかって割れる危険性があります。

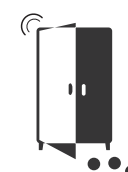
地震でガラスが割れて飛び散らないよう飛散防止フィルムを貼っておくことも効果的です。

集合住宅やマンションにおける安全対策の確認。

1 建物やエレベーターの耐震性や安全対策をチェックしておきましょう。

2 津波や洪水のハザードマップで事前に安全な高さの階を確認しておきましょう。

3 ライフラインが停止した場合に備え、管理組合などで備蓄品の準備を確認しましょう。



防災チェックリスト 非常時に備える準備

✓ 災害時に備え、ご家族でチェックしてご活用ください。

自宅の備蓄品を確認しましょう



安全用品

- ☐ ラジオ
- ☐ 懐中電灯
- ☐ 乾電池
- ☐ カセットコンロ
- ☐ 軍手

災害は時間を問いません。懐中電灯など明かりやメガネは取り出しやすい場所に置いておきましょう。

食料品

- ☐ 飲料水(3ℓ/人×3日分)
- ☐ 乾パンなど
- ☐ カップ麺など
- ☐ レトルト食品など

調理に火が必要のないものが最低3日分位あると安心です。食物アレルギーや慢性疾患のある方は、状況にあった食品を用意しておきましょう。

生活用品

- ☐ 簡易トイレ
- ☐ ティッシュ・トイレットペーパー
- ☐ 生理用品
- ☐ 紙おむつ
- ☐ 救急箱
- ☐ ウェットティッシュ
- ☐ マスク
- ☐ 常備薬
- ☐ その他必要なもの

持病のある方は、いつも飲んでい

memo

浴槽の水を残しておく、トイレの洗浄や簡単な洗濯などに利用できます。高層階では地震の揺れで水があふれる事がありますので水量に注意が必要です。



管理組合等に備蓄品はありますか？

- ☐ 飲料水
- ☐ 食料品
- ☐ 簡易トイレ
- ☐ 簡易電源

保管場所()



災害に備える

避難場所の確認

津波避難ビル メモ

避難所 メモ

すぐ避難

- 避難勧告・避難指示が発令された時。
- マンションに火災が延焼する危険がある時。
- ガス漏れが発生した時。
- マンション防災組織の代表者が、避難の必要があると判断した時。

この場所のハザードマップにおける津波の想定高さは m (階相当)

集合住宅やマンションの災害への備え

- 避難ルートとして非常階段・避難はしごの場所を把握。
- 事前に各階の消火栓や屋内消火栓の位置を知り確認しておきましょう。
- 事前に防災組織を立ち上げて置くことも有効です。



⚠ 災害が起きた時に(安全を確保)

□ 自宅や身の回りは安全ですか？

- ☐ ドアや窓は開く？
- ☐ ガラスは割れていない？
- ☐ ガス栓を閉める

□ 避難時に確認すること

- ☐ 止水栓を止める
- ☐ 電気のブレーカーを落とす
- ☐ 火の元を止める